

2009. 7.10 ( 15 )  
**東京公害患者と家族の会**  
 文京区小石川5-33-7マツモトビル2F  
 TEL03-5802-2366 FAX03-5802-2377  
**ぜん息110番**  
**03-5840-8446**

## 7月2日中環審答申案承認される・ヤッター!!!

### PM2.5環境基準設定

昨年(2008)の12月環境大臣よりPM2.5の環境基準を設定することが発表されましたが、その基準値や測定法などを『中央環境審議会』に諮問することになり専門委員会(様々な専門分野の学者による)が設けられ何回もの討議を重ねました。その専門委員会の報告が承認され、中環審の答申案になりそれが承認されました。

基準値は私たちが団体署名や環境省との交渉で求めていた米国並みの数値「年平均値が15・日平均値が35」が承認されたのです。2007年に裁判が終わった直後からPM2.5の環境基準設定を強く求めてきた私たち患者会や全国連合会の患者にはとても嬉しい朗報です。



米・EUでは基準設定済み

しかしまだ油断はできません、今後予定されているパブリックコメント(環境省が広く多くの意見を直接募集する)ではこの数値をめぐる企業・財界からの反発意見が寄せられることは予想されます。

せっかくここまで漕ぎつけたのですから、私たち会員はもちろんのことできるだけ多くの市民からパブリックコメントを集めて環境省に送りましょう。書式は自分で意見を書く、または署名方式の用紙に書き込むなど多様な方法があります。(パブリックコメントについては別便でお知らせを送ります)

## PM2.5についてもう一度おさらいです

大気中に広がる浮遊粒子状

(SPM)は40年近く前からぜん息などの呼吸器疾患の原因になると環境基準を設けていたが、PM2.5はより健康に悪いことがここ数十年くらい前からわかってきました。

### PM2.5の大きさは?

2.5マイクロメートル  
 (マイクロは100万分の1)  
 以下の大きさ!髪の毛の約  
 30分の1以下の物質です

### どんな影響があるの??

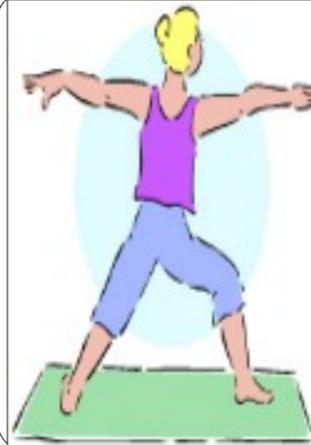
PM2.5は肺の奥深くまで入り込んで、炎症を起こしたり神経を刺激したり、不整脈や血栓などを引き起こす可能性があり、発ガン性の成分も含まれているので、循環器系の病気や肺ガン発症の危険性もあるのです

### その物質とは????

ディーゼル車や工場の排ガスに含まれる、煤成分など。火山の噴煙・黄砂なども含まれるが化学成分は炭素・硝酸塩・硫酸塩などが多く、長い場合は発生から数週間も大気中を漂い続けるのです。

### 規制はどうするの??

規制法はまだ明確にはなっていませんが、そこで私たち患者会が裁判で勝ち取った公害対策の出番です。軒並み測定局は基準値をオーバーしているので、測定方法を含めた改善策を早期に実施するように、裁判で勝ち取った国との交渉の場やその準備会などで強く要求していくつもりです。



「健康回復」旅行会に参加して 江東墨田支部参加者より

江東墨田からは新加入の患者さんの家族二組も参加されて全員で十一名の参加でした。

天候にも恵まれ体調の方も、特別悪くもならず楽しい旅行ができました。「健康回復旅行会」ということで、ただ遊びということではなく、ホテルについて約二時間位日頃の診療の時に自分の体調の気になることについてみなさん時間を気にせず質問ができて、担当医の吉澤先生もいつもより具体的にわかりやすく説明してくださりました。ホテルの広間も数十人の患者さんでいっぱいでした。

そして翌朝はホテルの玄関前で早朝6時からぜん息体操で気持ちの良い朝を迎えました。

新加入患者のみなさん、そして日頃患者会を支援してくださっている友の会の幹事さんたち、どうもありがとうございました。

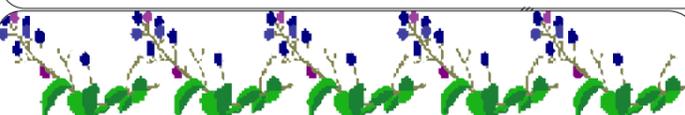
## 都議選が終わりましたが、衆議院選は8月30日に決まりましたね

私たち患者はあまり日々意識していませんが、「公健法」「都条例」いずれの認定を受けている人も公害被害者です。裁判に関わっておられない患者のみなさんには少し戸惑いがあるかも知れませんが、東京都の様に全域に大気汚染が広がっている地域では、本人の自覚もないままに被害を受けていることが認められたからこそ全ての都民が救済の対象になったのです。ところで選挙と私たち患者の関連ですが、政治と公害被害はとても関係が深いのです。都議選の結果をみても、失業や倒産・就職難や低賃金の現実を打開するために、大きな国政の改革をみなさんが求めていることがわかりますよね。日本が高度成長を続けていた1960年~1970年代の頃最も多くの公害が発生したのですが、世の中が物質的な豊かさを追い求めていた一方で被害を受けた患者は一生その被害を背負わされたのです。いま生活苦にあえぐ労働者もまた国政の愚策の被害者ではないでしょうか。

私たち大気汚染などの公害が自然環境を壊すことによって生まれた被害ならば、社会環境の崩壊により生まれた失業や貧困もここまで広域に大量になるとやはり、公害ではないでしょうか。

彼らのたった一つの救いは健康な身体があることですが、本当に全ての国民の命と健康を守るために国を司る政治家を選ぶのはとても難しいことかも知れませんが、公害被害を政治の道具にすることもあります、政界と財界の結託でかつてあった公害健康被害補償法の新規認定が打ち切られました。

それがあつたら今都条例で医療費助成を受けている患者のみなさんは、生活補償や療養手当・亡くなった後の一時金や遺族補償まで補償を受けることができたのです。きっと必ず私たちの補償を取り戻すために患者会員が心を一つにガンバリましょう。

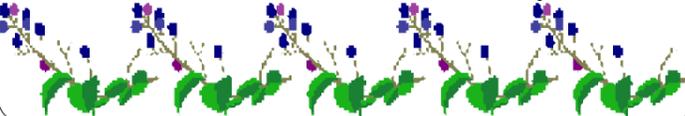


### 7月18日に川崎・大田で現地調査

7月18日(土)に川崎・大田で公害対策・環境再生の現地調査を行いますので、是非参加しましょう。

東京大気裁判の和解条項に基づく公害対策・環境再生が都内各地で進められています。国・東京都の消極的な取り組みを確実に実施させるため、川崎市の先進的な事業と運動に学ぶ現地調査(大田区含む)に参加してみませんか。

集合場所は、12:30にJR東京駅西口丸の内ビル前(大型バスで出発)か、13:00にJR川崎駅改札口。申込先は東京公害患者と家族の会・東京あおぞら連絡会: TEL03-5802-3551、FAX03-5802-2377まで。



### 7月の活動予定

- 12(日) 総行動運営委員会
- 13(月) 中野杉並世話人会・大田支部会議 13:30  
あおぞら連絡会理事会 18:30~
- 14(火) 健康づくり委員会 14:00~
- 15(水) 江東墨田支部役員会 18:30~
- 18(土) 川崎・大田現地調査 12:30~
- 19(日) 合同幹事会 13:30~
- 20(月) 青空の会総会
- 21(火) きょうどう委員会
- 22(水) 豊島支部会議 13:30~
- 23(木) 足立支部幹事会 14:00~
- 24(金) フォーラム実行委員会
- 25(土) 中野杉並患者会暑気払い交流会
- 27(月) 道路連絡会準備会 14:00~17:00
- 29(水) 民医連定期協議 10:00~

# 公害対策・まちづくり

きれいな空気と健康をとりもどす「埼玉のつどい」(埼玉のつどい実行委員会主催)が6月27日(土)にさいたま共済会館で開かれ、この集いを契機として埼玉で大気汚染公害の根絶と被害者の救済に向けた運動を一層強めていくことを確認した。

2月21日(土)の「千葉のつどい」(千葉あおぞら連絡会準備会主催)に続いて開催された「埼玉のつどい」には、東京公害患者と家族の会および東京あおぞら連絡会からも大勢駆けつけ、全体の参加者は70名規模に達し、盛会であった。

東京経済大学准教授の尾崎寛直氏、弁護士南雲芳夫氏、埼玉土建副委員長の才田信行氏による特別報告の後、東京からは東京公害患者と家族の会会長の西順司氏と東京あおぞら連絡会副理事長の吉川方章氏が連帯の挨拶を行い、「大気汚染被害の根絶と被害者の救済に向けた運動が埼玉でも広がることを切に願っています」とエールを送るとともに、「全国レベルの救済制度を国につくらせなければならぬ」と改めて強調した。また、「小さな願い合唱団による素敵なコーラスも披露された。

## 埼玉の患者も救済を！ 埼玉のつどいに70名参加

きれいな空気と健康をとりもどす「埼玉のつどい」(埼玉のつどい実行委員会主催)が6月27日(土)にさいたま共済会館で開かれ、この集いを契機として埼玉で大気汚染公害の根絶と被害者の救済に向けた運動を一層強めていくことを確認した。

2月21日(土)の「千葉のつどい」(千葉あおぞら連絡会準備会主催)に続いて開催された「埼玉のつどい」には、東京公害患者と家族の会および東京あおぞら連絡会からも大勢駆けつけ、全体の参加者は70名規模に達し、盛会であった。

東京経済大学准教授の尾崎寛直氏、弁護士南雲芳夫氏、埼玉土建副委員長の才田信行氏による特別報告の後、東京からは東京公害患者と家族の会会長の西順司氏と東京あおぞら連絡会副理事長の吉川方章氏が連帯の挨拶を行い、「大気汚染被害の根絶と被害者の救済に向けた運動が埼玉でも広がることを切に願っています」とエールを送るとともに、「全国レベルの救済制度を国につくらせなければならぬ」と改めて強調した。また、「小さな願い合唱団による素敵なコーラスも披露された。



6月20日、猛暑の中板橋区を巡る現地調査が行われました。板橋区役所前に集合した、参加者18名がマイクロバスで出発し、激甚交差点の大和町交差点に向かいました。当日は土曜日だったので交通量は通常より少なめでしたが、三重構造の高速道路には圧倒されました。

原弁護士からは「国も都もシエルト化など、私たちの要求は拒否し続けて来た」と説明がありました。和解では東京都が約束した、都心部への大型貨物車の走行規制の検討なども含め交差点対策の強化をもとめます。続いての相生町交差点では都道と環八通り、その上に首都高速5号線が走る三重構造になっていますが、ここでは「ねばり強い住民運動によって環八にシエルトをつけた大気浄化システムが稼働しています」と説明と報告がありました。

シエルトと大気浄化システムを視察した参加者からは「うちの区でも是非実現させたい」という声も聞かれました。その後高島平不動通りの歩行者・自転車道の整備状況や道路沿道の植栽などについても調査しました。

さらに事務局の大越さんの報告でも「学校の子どものぜん息比率が高い」という実態は板橋区の排ガス公害が深刻であるということも知らされました。

調査終了後小豆沢病院の待合室で「まとめ」の交流集會が開かれ、参加者から「調査は大変参考になり有意義だった」という感想が全員から寄せられました。

西会長からは「今後、東京の公害対策を実現させ、住みよい街を創るために患者会を強く大きくしよう」という訴えがありました。

## 板橋区公害対策 現地調査に参加して

6月20日、猛暑の中板橋区を巡る現地調査が行われました。板橋区役所前に集合した、参加者18名がマイクロバスで出発し、激甚交差点の大和町交差点に向かいました。当日は土曜日だったので交通量は通常より少なめでしたが、三重構造の高速道路には圧倒されました。

原弁護士からは「国も都もシエルト化など、私たちの要求は拒否し続けて来た」と説明がありました。和解では東京都が約束した、都心部への大型貨物車の走行規制の検討なども含め交差点対策の強化をもとめます。続いての相生町交差点では都道と環八通り、その上に首都高速5号線が走る三重構造になっていますが、ここでは「ねばり強い住民運動によって環八にシエルトをつけた大気浄化システムが稼働しています」と説明と報告がありました。

シエルトと大気浄化システムを視察した参加者からは「うちの区でも是非実現させたい」という声も聞かれました。その後高島平不動通りの歩行者・自転車道の整備状況や道路沿道の植栽などについても調査しました。

さらに事務局の大越さんの報告でも「学校の子どものぜん息比率が高い」という実態は板橋区の排ガス公害が深刻であるということも知らされました。

調査終了後小豆沢病院の待合室で「まとめ」の交流集會が開かれ、参加者から「調査は大変参考になり有意義だった」という感想が全員から寄せられました。

西会長からは「今後、東京の公害対策を実現させ、住みよい街を創るために患者会を強く大きくしよう」という訴えがありました。

# みなまた病・不知火患者会怒りの座り込み

会員のみなさんは先週7月3日みなまた病特別措置法案が国会衆議院本会議を可決したことをご存じですか。また7月8日には参議院も可決しました。

不知火患者会とは水俣病を発症した、熊本県や鹿児島県の小さな集落から「ノーモアミナマタ国賠訴訟」の原告になった患者のみなさんです。「ノーモアミナマタ」とは二度とみなまた病のような公害を出さないように、根元的な解決と恒久的な救済を求めた裁判です。そして原告が一番強く求めているのは、全ての患者の救済です。

特別措置法とは、加害企業のチッソの分社化を認める、利益を上げている液晶の分野を譲渡することで加害企業チッソの母体が消滅する可能性がある。被告企業がなくなるということは、その後補償が保証されなくなる。未救済患者の早期救済をと謳っているがその認定基準は極めて狭い範囲に限られているため事実上の切り捨て。

このように被害者の訴えに耳を貸さずに立法府が一方向的に救済案を創るといことが認められれば、私たちのようにこれから国に公害被害者補償法を創らせようとしている者は、これまでの運動で創り上げてきた制度を守ることさえ不安になってしまいます。元々不十分で問題の多い法案をこの時期に強引に可決させた国にたいして、強い憤りと不信を覚えます。(雨の中を座り込み・・・不知火患者会大石会長)



## 公害は人間が引き起こしたもの 全国公害被害者総行動に参加して

六月一日、私は日比谷を中心にした「温暖化ストップ！今なら間に合う！全国公害被害者総決起集会」に大気汚染公害患者と家族の会の一員として参加しました。

水俣病、肺がん治療薬イレッサ薬害、よみがえれ有明海：をはじめ、公害被害者団体一五余りが結集し、政府・財界・公害発生企業に対し、被害者救済と公害根絶を求め交渉や集会・デモなどが行われました。

異常気象で温暖化が進むと「桜の花が咲かない春がやがて来る。開花には厳しい冬の寒さが必要なだから！」、「温暖化は自然に発生するものではなく、人間が引き起こしたものだ！」と環境大臣に迫る弁護士の言葉が印象に残りました。「生命と健康と生活を守る」ための「なくせ公害・守ろう地球環境」の運動の大事さを痛感した一日となりました。

中野杉並支部  
(進藤光子)

写真中央が進藤さん